

議 会

なかたね町

だより

第144号 平成29年8月10日発行

平成29年第2回定例会

平成29年度補正予算 ②～③

一般質問（8人） ④～⑪

専決処分・条例・その他議案 ⑫～⑬

議会の動き・編集後記 ⑭



～頂点を目指して～
第58回県民体育大会熊毛地区大会

平成29年6月定例会

6月定例会は、6月14日に招集され、6月22日までの9日間の会期で開かれました。初日は、8人の議員(下田敬三・迫田秀三・池山朝生・蓮子信二・徳永紹道・濱脇重樹・日高和典・徳永留夫)が一般質問を行ないました。

6月15日の2日目は、平成28年度補正予算等専決処分9件が承認され、その後、一般会計繰越明許費繰越計算書の報告、平成29年度補正予算7件、その他議案4件が原案どおり可決されました。また、法律の改正に伴い、農業委員13名の選任に同意しました。

22日の最終日は、有人国境離島法に伴う関連補正予算1件を原案のとおり決定。また、陳情について総務文教常任委員長の報告を受け、1件を採択としました。

平成29年度補正予算

◆一般会計補正予算(第1号)

今回の補正は、職員の人

事異動及び給与改定に伴う人件費の調整。また、当初予算以降に必要

が生じた経費の追加、国・県支出金などの内

示・決定及び事業名の変更等に伴う調整が主な

ものです。

【歳入】

各補助金等の交付内

示・決定による調整。前年度からの繰越金、精算

に伴う特別会計からの繰入金を計上。財政調整

基金繰入金は減額による財源調整を行い、町債

は事業費の変更等による財源更正が主なものです。

【歳出】

「総務費」は、ふるさと応援基金積立金の追加。

中種子を考える会コアメンバーの旅費、コミュニケーション

ニティ助成事業決定による補助金の追加。

「民生費」は、国保会計・介護保険会計への繰出金の調整。

「衛生費」は、簡易水道事業特別会計、後期高齢

者医療会計への繰出金の調整。水道事業の水質

安全対策に対する繰出金の追加。

「農林水産業費」は、有人国境離島法による輸送コスト支援事業の追加。地域畜産低コスト

産対策事業の増額、地籍調査事業の内示による

事業費の減額、農業・農村活性化推進施設等整

備事業の県単事業実施による削減。

「商工費」は、地域おこし企業人派遣事業及び

滞在型観光促進事業の負担金追加。

「土木費」は、道路整備

事業の内示による調整と公営住宅整備事業見

直しによる減額。

「教育費」は、県営事業地区の埋蔵文化財発掘

調査事業の追加をそれぞれ計上しています。

◆一般会計補正予算(第2号)

有人国境離島法に基

づく雇用機会拡充事業の公募について、既定予

算を超える応募があり、7月の国への申請には

予算が必要となるため、緊急に経費の計上をす

るものです。

各会計の補正額と予算の総額は別表のとおり

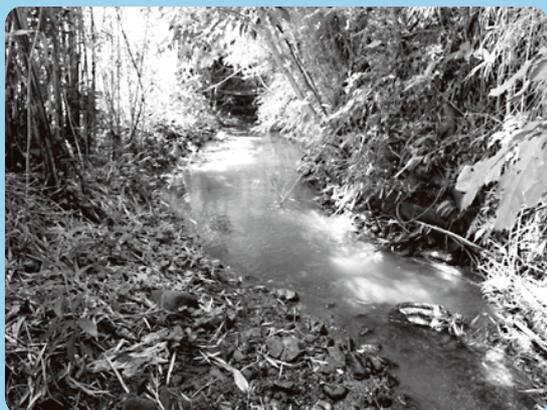
です。

平成29年度会計別予算額

[別表]

会 計 名 (補正号数)	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第1号)	2, 8 3 1万円	6 6 億3, 2 3 1万円
(第2号)	1, 5 0 0万円	6 6 億4, 7 3 1万円
特 別 会 計		
国民健康保険会計 (第1号)	2 1 9万円	1 5 億4, 1 7 3万円
と 畜 場 会 計 (第1号)	4 9万円	3 9 8万円
簡易水道事業会計 (第1号)	4万円	2 億9 1 8万円
介護保険事業会計 (第1号)	2, 4 3 8万円	1 1 億2 6 0万円
後期高齢者医療会計 (第1号)	7 0 8万円	1 億4, 7 4 3万円
水道事業会計 (収益的支出) (第1号)	4 3 1万円	1 億7, 7 2 6万円

補正予算の主なもの



大型水路設置工事 (中田地区)
375万円



種子島こりーな映像設備改修工事
2,572万円

【その他主なもの】

- (財産管理費) ふるさと応援基金積立金 2,000万円
- (企画費) コミュニティ助成事業 200万円
- (畜産業費) 輸送コスト支援事業 (黒豚) 346万円
- (農村振興運動費) なかたねまちおこし・ふれあい協議会負担金 200万円
- (観光費) 地域おこし企業人派遣負担金 210万円
- (観光費) 滞在型観光促進事業負担金 517万円
- (埋蔵文化財発掘調査費) 発掘作業賃金及び重機借り上げ料 613万円

農業施策

サトウキビ栽培面積を増やす方策は

町長／増収対策と農家の意識改革を促す



下田 敬三 議員

下田 施政方針に単収増への対策はあるが、増反についての方策はあるのか。

品目別経営安定化対策事業の影響について
下田 1ヘクタール未満の農家は、一部作業委託を強要されることが負担となり、離農が増える一因になっていると思えるが、町長の考えは。

面積の確保が必要と考えるが、手刈りほ場の減少をどのようにとらえているか。

町長 昨年、中種子町6次産業化推進協議会を設立し加工流通の調査を行っています。一部、個人で安納芋を産業化している農家もおりますが、まだ初期段階で、今後、更に意識向上に努めます。

新規作物の導入については、薬草も含め、有志に依頼し試験栽培を行っています。

島シキミ生産組合』を設立しています。中種子町でも、2、3名が組合員としてシキミの栽培をしているようです。
生産組合の組合長のほ場も見学し、現状もお聞きしました。今後、栽培が広がる可能性がありますと認識しますので、熊毛支庁とも連携をとりながら、農家や団体等に積極的に提案します。

町長 植え付けプランター、株揃え機、きびロータリー等の導入をさらに進めながら、栽培ごよみの活用・肥培管理・品種構成の見直し・講習会への参加等、増収・増反に向けた農家自身の生産意欲への意識改革が必要かと考え、農家を指導します。

町長 ここ数年の低単収の中では、負担も大きく、生産意欲の減退につながっていると思います。委託作業料についても、今後、管理、収穫を問わず、農家に増反意欲が出るような料金を検討するべきと提言しています。

町長 農家の労力軽減のために、機械収穫が増えており委託料の負担増になっています。しかし、農家も肥培管理を徹底し単収を上げ、また、ハーベスター利用組合も収穫技術の向上を目指せば、単収も上がり次年度にも期待ができるほ場となり農家負担も軽減します。

シキミ栽培について
下田 町では、中種子町林産物生産推進協議会を立ち上げ『竹屋野ニガダケ生産組合』を中心にこの春からニガダケを島外に出荷している。



田淵川 寿広 町長

手刈り面積の確保は

下田 ここ数年機械収穫作業が進み、本町でも9割を超えてきている。ほ場の養生や零細農家を守るためにも、手刈り

6次産業化・複合経営について

下田 6次産業化と複合経営の新規作物導入について、現状の説明を求める。

町長 現在、南種子町の組合員を中心に『種子シキミ・サカキ・ヒサカキ等の花木類も推進品目に導入するべきではないか。



▲シキミ栽培ほ場



キビ作振興

作付面積の減少に歯止めがかからない。その対策は。

町長／これまでの事業展開を継続しながら農家の意識改革を図っていく。

迫田 秀三 議員

このまま減少が続いていくと製糖工場の撤退も予想される。早急な対策が求められるかどう考えているか。

迫田 このまま減少が続いていくと製糖工場の撤退も予想される。早急な対策が求められるかどう考えているか。

迫田 種子島におけるサトウキビ産業の現状

町長 町としてはこれまでと同様に優良種苗供給や深耕作業、増産、労力軽減に向けた機械導入など積極的に事業の展開をしていきたいと思えます。と同時に、大事なことは、栽培ごよみを活用した、植え付けから収穫までの基本的な肥培管理の励行を進めることが大事であると考えています。そして農家の意識改革を図るために、各種講習会への積極的な参加などにより、農家のばらつきをなくし、収穫量の高位平準化を図る必要があるものと考えています。



▲キビ栽培ほ場

町長 より一層の意識の向上という観点から、生産者大会というものは大変効果的なものではないかと考えております。今後、振興会、製糖企業等、連携をとりながら実現に向けて検討を進めていきたいと考えています。

町長 これまでの、若者の定住に向けた取り組み状況は。

迫田 これまでの、若者の定住に向けた取り組み状況は。

町長 過去において、国の過疎対策事業を活用した若者定住促進事業として、「総合運動公園」「ふれあいの里」「種子島こりーな」などの施設整備を行ってきました。現在は「まち・ひと・しごと創生総合戦略事業」において、安定した雇用の創出、交流人口の拡大と定住のための住宅環境整備、出産

町長 レクリエーション村の活用も含めて、施設の誘致であったり、若者に求められている娯楽施設について、今後調査研究しながら、動くところは動いていきたいと考えています。

町長 町としてはこれまでと同様に優良種苗供給や深耕作業、増産、労力軽減に向けた機械導入など積極的に事業の展開をしていきたいと思えます。同時に、大事なことは、栽培ごよみを活用した、植え付けから収穫までの基本的な肥培管理の励行を進めることが大事であると考えています。そして農家の意識改革を図るために、各種講習会への積極的な参加などにより、農家のばらつきをなくし、収穫量の高位平準化を図る必要があるものと考えています。

町長 より一層の意識の向上という観点から、生産者大会というものは大変効果的なものではないかと考えております。今後、振興会、製糖企業等、連携をとりながら実現に向けて検討を進めていきたいと考えています。

町長 これまでの、若者の定住に向けた取り組み状況は。

迫田 これまでの、若者の定住に向けた取り組み状況は。

町長 レクリエーション村の活用も含めて、施設の誘致であったり、若者に求められている娯楽施設について、今後調査研究しながら、動くところは動いていきたいと考えています。

若者の定住に向けて娯楽施設誘致の考えは町長／今後研究しながら検討していきたい。



池山 朝生 議員

安納芋貯蔵庫

農家所得の向上につながるための大型貯蔵庫設置を

町長／費用対効果について慎重に検討する

池山 作り物は、天候に大きく左右される。台風の影響を受けずとも、その年は不作貧乏となり、豊作の場合は大量に生産量が増え安売りに走ったり、売れ残りたりして豊作貧乏となる。買い叩かれることなく、また安売りすることなく「安納芋」を有利販売するためには長期間品質を維持しなければならぬ。そのためには大型貯蔵庫が必要である。貯蔵庫をつくる考えはないか。

町長 「安納芋」の栽培面積は28年度実績で156ヘクタールであります。うち農協など貯蔵施設を活用している栽培面積は90ヘクタールで残り65ヘクタールが出荷調整をしないで販売している状況であります。貯蔵施設を望んでいる農家などの程度いるのか、また施設を利用することでの程度の有利販売ができるのか、施設の規模と費用対効果について十分検証し慎重に検討します。

池山 中種子町の農産物の生産額が約41億円であり、そのうちの4分1、約10億円が「安納芋」である。島内全体では30億円産業である。種子島に授かった「宝の芋」である。農業の町、中種子町の農業振興の発展を推進していくためには「安納芋」は、なくてはならない作物である。長期間品質を維持できれば市場が品薄となる時期まで持ちこたえられ安売ることができる。貯蔵施設は絶対に必要である。

町長 貯蔵庫が必要であるという認識、必要性は理解していますが形としてものがまだ把握できていないために検討させていただきたいと思えます。

池山 平成21年に「ふれあいの里」に貯蔵庫を作っている。貯蔵容量は20トンであり、この量は一農家の生産量1ヘクタールの栽培面積である。貯蔵庫の必要性、事業の効果、貯蔵性の安定化により高品質を求め

られる。事業の目的をはっきり示しているが8年経った今も必要性はあると言いつつも一向に拡大して農業振興のための取り組みはなされていない。課題点・問題点があつてはとわかつていることは実行に移せ。「安納芋」は、種子島の農業を救う唯一の武器である。

田んぼを荒らさないよ水田活用を図れ

町長 中種子町農業再生協議会でしっかりと検討し方向性を定める

池山 平成28年度経営所得安定対策交付金の実績と水田事業の現状を示せ。

町長 超早場米の主食用米の生産を中心に行われていて、平成28年度は約287ヘクタールが栽培されています。水稲以外の作付け作物はサトウキビが最も多く、WCS用稲・でん粉用甘藷・飼料用作物（牧草）の順で栽培され農家1戸当たりの水稲経営面積は約40アール

です。米の直接支払い交付金については、水稲作付面積10アール当たり7500円を交付する制度で、661件で約1592万6000円交付されました。水田活用の直接支払い交付金については、水田への転作作物を作付したときに支払われる交付金で10アール当たり飼料用作物3万円、WCS用稲8万円、サトウキビ2万2500円が交付されています。約3437万7000円が支払われています。

池山 近年、水稲作についての変化があつたか。

農林水産課長 主食用米が年々減少しているという中において、WCSの面積が平成24年度、約10ヘクタールが、平成28年度は倍の21ヘクタールに伸びてきています。

池山 48年続いた「減反制度」が来年、30年4

月に廃止となる。そのことによる水田農業の動向をどのように捉え、今後の水田農業、活用をどう進めていくのか。

町長 地域農業再生協議会が作成する地域ビジョンを踏まえ需要に応じた米生産に取り組み、水田活用の直接支払い交付金を活用した水田フル活用を推進し「中種子町農業再生協議会」でしっかりと方向性を検討してすすめていきます。

池山 今、固まっている転作作物であっても絶えず自立のできる水田農業を目指して耕作放棄地が増えないよう水田活用を図れ。多くの議員が、農業の町・中種子町の農業の振興について議論してきているが私は、「議論だけで終わっている」という感じが否めない。抽象的な議論の繰り返しでは発展性はない。農業の振興・農家の繁栄・農家所得の向上こそが中種子町の経済そのものである。



産廃の島外持ち込みの協定変更 締結はいつ、理由は

町長／平成29年4月1日付締結、雇用、経済
への波及効果、拒む理由なし

蓮子 信二 議員

蓮子 増田校区での説明会で校区民が賛同したとは到底思えない。今でもあの説明会のあり方に疑問を感じている。町長は受け入れに賛同

町長 現在の条件が、廃棄物の法令に規定する安定型産業廃棄物の処分に供される場所であり、営業開始以降問題なく営業されており、申し出を拒む理由もなく、町内での雇用、経済への波及効果、また、安定5品目以外の廃棄物を持ち込んだ場合、即営業停止ができることを含め、平成29年4月1日付けで、島内から県内へ変更した協定を結んだもの

蓮子 産業廃棄物の受け入れを島内から島外に変更する協定を結んだことについて、いつ、どのような理由で、町としてどのようなメリットがあるのか。増田校区民、町民が納得できる説明を。

蓮子 説明会の中で、結果については校区長に説明をするとあった

ところ、区民の不安を払拭するためいろいろな条件を付加する必要があり、協定を結ぶに当たっては事前に校区長に目を通していただいていたことになったところ。また、区民の不安を払拭するためいろいろな条件を付加する必要があり、協定を結ぶに当たっては事前に校区長に目を通していただいていたことになったところ。

町長 校区の皆さん方に賛否を問うていないし、賛同を得られたという発言も私は一切し

蓮子 説明会の中で、結果については校区長に説明をするとあった

町長 3月中旬に、前課長に確認をしたところ、前校区長さんには一応見ていただいていると報告を受けています。それと、報告会で説明しなかつたのは、意図的な意識をもってしなかつたわけではなく、議員もいたので、質疑等あるかと考えていたところです。

町長 島内に限るという限定を、県内に限るという限定の変更がまず1点、他に付け加えたものは、搬入時間を午前8時から午後5時までとし、夜間の運搬車両の通行は行わない。犬城川支流の水質検査の実施、環境保全その他の協力、協定の有効期間を3年間とすることが追加され、より一層厳しい、安全性を高めるものになったと認識しています。

蓮子 協定書の条件で何を換え、何を付け加えたのか。

町長 協定締結後の条件変更等説明を求められれば、この前のように集まっていたら、説明をするのはできると思っています。

町長 処分場自体の許可は県のほうであるので、現状ではそれに対して即答できる状況ではないと思います。また、町民目線というご意見もありますので、当然のことながら、今以上に慎重に検討するものと考えています。

蓮子 増設の申請があった場合、これを認め、同意するのか。

町長 協定変更後の営業活動になるので、その量的なもの、現処分場の埋め立てが完了するまでの期間等についての詳しい説明は受けていません。

蓮子 今回の条件変更には無理があったのではと言わざるを得ない。今後は、地元だけでなく町全体のこととして、広く町民の意見を聞き、住民の意に沿った慎重な判断をするよう強く要望します。



▲工事現場からの産業廃棄物



徳永 紹道 議員

国民健康保険

国民健康保険制度の改正について

町長／県のほうで協議検討中である

徳永 平成30年4月1日より国民健康保険の保険者が、県と町となります。町が県から割り当てられる納付金はどのように決められるのか。

町長 国庫負担金、社会保険診療報酬支払基金からの前期高齢者納付金、療養給付費などの交付金、県の高額医療費負担金、町からの国保事業費納付金、一般会計繰入金などが財源となります。

町長 町の医療費水準所得水準などを考慮して納付金を決定することになっているが、現在、協議検討中であるため、詳細については説明を控えます。

徳永 町は、住民の生活を守るための方策として、一般会計から繰り入れて、独自の軽減策を取ってきたが、これから入れなどをしていくのか。

町長 財政安定化基金の活用などを検討しても、なお財源の調整をしなければならぬときは、被保険者の負担増とならないような措置は考えます。

徳永 県は、町の保険給付に必要な財源をどのように決めるのか。

町長 今のところ県からの指示待ちの状態です。

徳永 町は、住民にどのように保険税を賦課するののか。

町長 財政安定化基金の活用などを検討しても、なお財源の調整をしなければならぬときは、被保険者の負担増とならないような措置は考えます。

徳永 県は、町の保険給付に必要な財源をどのように決めるのか。

町長 今のところ県からの指示待ちの状態です。

徳永 町は、住民にどのように保険税を賦課するののか。

特別教育支援員について

徳永 入学式でも遠足でも、学芸会でも卒業式でも、子どもたちが出ている日はすべて出勤してもらおう体制にするべきではないか。

教育長 在籍する児童生徒の障害の改善の状況、各学校の職員数などで支援体制が変わってきます。教科によって、支援が必要でない児童生徒がいたり、常に支援が必要であったりと、学校によって支援体制

はさまざまです。入学式や遠足、運動会、学芸会、卒業式など、子どもが登校している日はすべて特別な支援を望まれた場合には、受けられることが大切であるとして、町として本年3月、常勤の配置を整えたところです。教育委員会として、年度末の各学校からの報告、新年度の学校調べ、中種子養護学校の先生方の御意見など情報交換、校長会や教頭会への聞き取り調査など事態の把握に努めています。恐らく、保護者の思いとかあって、自分の子はそのような障害を持ちながらも、そう認められるのが嫌だと、そういったこともあるようでしたこと、教育委員会まで声が届かないということが現実かと思えます。

そこで、特別支援の問題は、個々人のプライベートな内容を含みますので、後ほど教育委員会のほうにお知らせをいただければ、該当の学校長に指示をしまして、状況や本人及び保護者の心情の把握、担任及び特別支援員の指導の現状等把握させ、必要な措置を取らせてまいりたいと思います。

現在、中種子町の児童生徒で特別支援を必要とする生徒は55人いることは分かっております。野間小学校が本来3人支援員がいましたが、今年、常勤1人を配置しようとしたが、見つからずに現在に至っております。もう少し時間をいただいで、支援員を配置するとともに、改善を図っていきたくと考えております。

北之園 千春 教育長



北之園 千春 教育長

そこで、特別支援の問題は、個々人のプライベートな内容を含みますので、後ほど教育委員会のほうにお知らせをいただければ、該当の学校長に指示をしまして、状況や本人及び保護者の心情の把握、担任及び特別支援員の指導の現状等把握させ、必要な措置を取らせてまいりたいと思います。

現在、中種子町の児童生徒で特別支援を必要とする生徒は55人いることは分かっております。野間小学校が本来3人支援員がいましたが、今年、常勤1人を配置しようとしたが、見つからずに現在に至っております。もう少し時間をいただいで、支援員を配置するとともに、改善を図っていきたくと考えております。



スポーツ合宿

今後の合宿の方針は

町長／誘致も含め推進していく

濱脇 重樹 議員

います。深めていくことは、大切に考えています。

町長 交流人口の増大や地域の活性化も含め、29年度も体育協会各競技部などと連携を図りながら、合宿受入の推進を考えています。経済効果などの程度波及しているかはまだ把握していませんが、町民がスポーツを通じて交流を

濱脇 合宿への補助金額が、約10倍に増えていることに対してはどう考えているか。

町長 平成22年度にスポーツ合宿等誘致推進協議会を立ち上げ、平成28年度までに多くの方が利用しています。学生のスポーツ合宿が中心になっているので、今後は実業団合宿の誘致も含め、推進していきたいと考えています。

濱脇 スポーツ合宿の受け入れが多くなっているが、今後の方針はどのように考えているのか。

町長 陸上競技場は町民体育祭の開催で、芝の管理に制限があり、他の施設の利用については、送迎などの課題が多くあります。必要性としては充分認識していませんが、太陽の里運動公園の現有施設の老朽化による長寿命化計画の改修があり、財政的な面からも現在は計画を立てて

町長 陸上競技場は町民体育祭の開催で、芝の管理に制限があり、他の施設の利用については、送迎などの課題が多くあります。必要性としては充分認識していませんが、太陽の里運動公園の現有施設の老朽化による長寿命化計画の改修があり、財政的な面からも現在は計画を立てて

濱脇 スポーツ合宿を踏まえ、サッカー場建設の計画はないのか。

町長 施設の状況や宿泊施設での食事関係等を集約し、町スポーツ合宿誘致協議会で報告し、協議をしています。宿泊受入れ先の旅館業と会議を開き、調査結果を報告して改善点などの要望を行なっています。合宿に来て良かった、また来たいと思っていただけけるような指導をしていきたいと考えています。

濱脇 合宿団体の調査を踏まえ、民間宿泊施設への指導はどう考えているのか。



▲デンソー女子ソフトボール合宿

いません。他の施設を借用して利用していきたいと考えています。

多目的広場の使用について

濱脇 現在、多目的広場は多くの町民が活用しています。もう一つの利用法として農林漁業祭や町民体育祭等の駐車場として使用できないのか。

町長 駐車場としての利用については、安全面から考えますと、開会式や閉会式後の時間帯は人の出入りが非常に多く、危険であることや、管理上の問題もあり、駐

ジャンボタニシ対策について

濱脇 町内では、多くの水田で発生し、水稲への被害が拡大しているが、どのように取り組んでいるのか。

町長 防除対策としては、水稲収穫後の耕運を行なうことや水稲植付後の一ヶ月浅水管理を行うことがあります。また、薬剤防除としては、収穫後に石灰窒素の散布や田植え後に防除薬を散布するなどのことが考えられます。関係機関と一体となり、水稲部会の総会や育苗講習会などを通じて周知を図りながら、根絶へ向けた取り組みとして、生産者各位の意識の改革を図るための推進をしています。きたいと考えています。

濱脇 現状はどういった対策をとっているのか。

町長 今回の対策はとっていません。

濱脇 今後の計画はどうなっているのか。

町長 浦全体で統一がされていない様相で現在に至っています。今後は防除に向けた話し合いを進めていく必要があります。ほ場の整備や耕運等を含めて周知し、検討する考えています。

濱脇 田植え後被害が出ている情報は把握しているのか。

町長 田植えをした後に、苗がなくなっている情報は捉えていません。

農林水産課長 植え付け直後の被害の実態は把握しています。対策については、農家個々の対応が重要であり、浦全体の対策が効果的だと思います。今後は、水稲部会等で啓発していく必要があると考えています。

町長 今回の対策はとっていません。



日高 和典 議員

子育て支援

本町での、取り組み状況と今後の課題は

町長／保育料の軽減を財政状況も勘案し、検討する



▲保育所一時預かり事業

日高 次世代を担う子どもは宝であり、支援の充実が急務です。取り組み状況と今後の課題は。

雇用創出への取り組みと見解は。
町長／IT関係者が誘致の検討を始めています。

町長 乳幼児医療助成事業・ひとり親家庭等医療費助成・出産祝金支給事業・一時預かり事業等に取り組んでいます。今後の課題は、国も子育て支援で保育料の軽減がされていますので、財政状況も勘案し、検討します。

日高 これまでの企業誘致活動への取り組みと、これからの見解は。

町長 各中種子会や出郷者の皆様等と面会する中、旧中学校跡地・遊休用地・高速ブロードバンド整備計画等の説明をしています。特に、光ブロードバンド環境が整備される事から、まだ構想段階から一歩踏み出した程度かもしれませんが、IT関係者が検討を始めてる現状です。今後もあらゆる機会を利用して、本町のPR誘致活動を進めます。町民各位からの情報の提供もお願いします。

漁業者を対象とし、新規事業者の確保を図っているがこれまでの成果は。

会と協力して、具体的な事業計画は。

町長 6次産業化に対して意欲、興味のある人を対象に研修会を実施しています。現実に安納芋を素材にした加工品の販売農家や、地元材の販売加工・販売している町民もいます。6次産業化へ向けた機運づくりが出来つつあると考えています。

日高 研修会の内容は。

町長 観光協会を主体にガイド育成事業、サイクルツーリズム事業、アニメツーリズム推進事業等を行っています。また、プロサーフィン大会の情報発信により交流人口の拡大に期待がもてると思います。グリーンツーリズム推進協議会については、農家民泊への誘致活動を引き続き行います。

日高 阿嶽川マングローブ林から、文化庁の広田遺跡ミュージアムへつなぐルートを、積極的に取り入れてはと考えるが。

町長 ご指摘のルートというより、この熊野地域の自然・文化・歴史や施設等を観光資源として、もう少し魅力を高めていく必要性があります。機能を充実させ

て、その情報発信や有効活用、これによって、種子島南部地域の観光振興に寄与できればと考えています。

日高 地域おこし協力隊員と町民の交流・意見交換の場が足りないとの声を聞くが見解は。

町長 あらゆる場所に出向き、地域おこし活動を行っている方々や、小学校の子ども達と交流をしています。プライベートでも、趣味等を通じて町民との交流を深めています。意見交換の場が少ないとの声は町民の方々の協力隊に対する、期待の大きさのあらわれだと思いますので、これまで以上に地域の方々と交流し、意見交換できるような活動・情報収集の場を、広げていただこうと思います。

日高 6次産業化等推進協議会を中心に、農林

日高 観光協会、グリーンツーリズム推進協議

観光振興について



体育協会

体育協会の補助金は現状のままでもいいか

町長／今のところ現状のまま活動を

徳永 留夫 議員

めを研鑽していると思
います。いろいろな意
見、ご要望も伺いながら
施設の維持管理に努め、
安心安全な環境整備を

徳永 20競技部への補
助金が一律1万300
0円、負担金2000円
を差し引かれ実質1万
1000円で活動して
いる。県民熊毛地区大
会・県民大会前には各
競技部鋭意奮闘してい
ますが、現状のままで
いいと考えるか。

町長 協会設立の本来
の目的である、町民の体
育スポーツの振興、健康
の保持増進などの事業
推進のための補助金と
考えています。相当の自
己負担もあると認識し
ていますが、好きな競
技、趣味特技とする競技
を楽しむ、技術向上のた

図りながら、体育スポー
ツの振興を推進します。



▲県民熊毛地区大会

**スポーツ合宿に伴うお
もてなし教育の実施と
宿泊施設の誘致の考え
は**
町長／商工会と連携を
図りながら推進。今の
ところ誘致の情報もな
し

徳永 合宿は好調を維
持し、スケジュールのや
りくりで苦勞している
ようだが、町として接客

業を中心としたおもて
なし教育はできないも
のか。

町長 商工会と連携を
図りながら推進してま
いります。

徳永 新たな宿泊施設
の誘致の考えはないか。

町長 今のところそう
いう情報もありません。
新たに始める方がいれ
ば、協力はさせていただ
きます。

**旧柏医院跡地の利活用
は**
町長／有効活用策を探
る

徳永 報告があった旧
柏医院跡地の利活用は。

町長 ご遺族の好意で

寄付をしていただいた
もので、現段階では具体
的な計画は持っていない
ところですが、町民の皆
さんのご意見も参考に
しながら、十分な検討を
重ねて有効な活用策を
探ってまいります。

**馬毛島対策協議会の具
体的内容は**

町長／中身の内容は秘
密会のため控える

徳永 5月17日開催さ
れた馬毛島対策協議会。
その具体的内容は。

町長 秘密会のため、
その中身のコメントは
控えます。

で情報を収集し、住民に
正確な情報を伝えたい
ということだが、今まで
の考えかたと真反対な
考えだと思いが。

町長 記事の内容に限
定しての説明しかでき
ないですが、そのコメン
トを残したことは若干
の驚きがあります。施政

方針では、馬毛島の有効
利用を検討する部署を
立ち上げることも拝見
しました。今後の西之表
市議会においても市長
の考え方が問われると
ころもあるのかなと考
えております。

その中身のコメントは
控えます。

町長 秘密会のため、
その中身のコメントは
控えます。

徳永 新聞によると会
長に現西之表市長が選
任され、協議会として
は、ニュートラルな立場

平成28年度補正予算

■一般会計等7件について補正予算が承認されました。

◆一般会計の歳入は、町税、国・県支出金の確定に伴う収入額の調整です。

◆歳出は、各事業費の確定、入札等による執行残額の減額・調整を行うものです。

※各会計毎の補正額と補正後の予算総額については別表のとおりです。

一般会計総額 70億8265万円

平成28年度 会計別予算額

【別表】

会計名 (補正号数)	補正額	補正後の予算額	
一般会計 (第10号)	2億1,204万円	70億8,265万円	
特別会計	国民健康保険会計 (第5号)	▲5,941万円	15億3,397万円
	と畜場会計 (第3号)	0万円	423万円
	簡易水道会計 (第5号)	▲10万円	2億6,384万円
	介護保険会計 (第5号)	▲3,079万円	10億2,589万円
	後期高齢者会計 (第5号)	▲30万円	1億4,261万円
水道事業会計(収益的収支) (第5号)	50万円	1億7,293万円	

陳情

●教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書採択の陳情・意見書

【陳情者】

鶴園 紳太郎

【発議者】

迫田 秀三 外6名

【趣旨】

学校現場における課題が複雑化・困難化する中で、子ども達の豊かな学びを実現するためには、教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが不可欠である。明日の日本を担う子ども達を育む学校現場において、教職員が人間らしい働き方ができるための長時間労働是正が必要であり、そのための教職員定数改善はかせない。

また、離島・山間部の多い鹿児島県においては、2学年の子どもが一つの教室で学ぶ複式学級が多く、子どもの教育の機会均等と学びの保障の観点から、複式学級の解消は極めて重要な課題である。

義務教育費国庫負担制度については、「三位一体改革」の中で、国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられた。自治体においては、厳しい財政状況の中、独自財源による定数措置が行われているが、地方自治体の財政を圧迫している。国の施策として定数改善に向けた財源を保障し、子どもたちがどこに住んでいても、一定の水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。ゆたかな子どもへの学びを保障するための条件整備は不可欠である。こうした

観点から

一、子どもたちの教育環境改善、教職員の長時間労働改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。
二、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。
三、離島・山間部の多い鹿児島県において、教育の機会均等を保障するため、国の学級編成基準を改めて、学校統廃合によらない複式学級の解消に向けて適切な措置を講ずること。

趣旨は妥当と認め、陳情を採択しました。あわせて意見書を提出します。

株式等譲渡所得金額に係る所得について、町長が課税方式を決定できることの明確化、及び延滞金の計算の基礎となる機関に係る規定の整備、控除対象者配偶者の定義の変更に伴う規定の整備をするものです。

◆中種子町国民健康保険条例の一部改正
国民健康保険税の2割減世帯と5割軽減世帯の軽減所得基準額を引き上げたものです。

◆中種子町過疎地域産業開発促進条例の一部改正
過疎地域自立促進特別法の改正により、地方税の課税免除又は不均一課税に伴う拡充として、情報発信技術利用事業を廃止し、新たに農林水産物等販売業を追加するものです。

条例

◆中種子町税賦課徴収条例の一部改正

特定配当等及び特定

その他

◆中種子町過疎地域自立促進計画の変更について

変更内容は、

一、基盤整備では、農地整備事業、農業基盤整備促進事業、サトウキビ作地力増進対策事業の追加。

一、経営近代化施設では、サトウキビ増産強化対策事業、及びソフト事業を4事業を追加。

一、交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進では、種子島FM補完中継局整備事業とソフト事業の2事業を追加。

一、生活環境の整備では、水道事業に係わる耐震化事業、施設管理計画策定事業、加圧施設送致整備事業の追加、及び、町単独熊野干拓地水門補修工事を追加。

一、高齢者等の保険、福祉の向上及び増進では、中央保育所増築事業を

及びソフト事業の1事業を追加するものです。

◆平成28年度一般会計繰越明許費計算書の報告

●個人番号カード交付事業

●海岸漂着物地域対策推進事業

●地籍調査事業

●町道大平中山線改良舗装事業

●町道坂井熊野線改良舗装事業

●坂井熊野線塩屋工区橋梁改築事業

●町立体育館大規模改修事業

繰越額合計

2億8652万5千円

◆水槽付消防自動車購入契約について

契約の目的

水槽付消防ポンプ自動車購入

契約の方法

指名競争入札による契約

契約の金額

1金3769万円

契約の相手方

鹿児島市松原町12番32号鹿児島モリタポンプ株式会社代表取締役

尾曲 昭二

地方自治法第96条第1項第5号の規定により議決がなされました。

◆中種子辺地に係る総合整備計画の策定について

変更内容は、電気通信に関する施設に於いて、光ブロードバンド導入事業、種子島FM補完中継局整備事業を追加するものです。

一部事務組合

◆公立種子島病院組合

議会

●平成29年第1回臨時会(4月27日)

平成29年度補正予算(第1号)の収益的収入は469万円増額し、8億6242万円。支出は574万円増額し、8億9740万円とするものです。

●平成29年第2回臨時会(5月24日)

監査委員の同意案件で、戸田和代議員が議会議出監査委員に選任されました。

◆種子島産婦人科医院

組合議会

●平成29年第1回臨時会(5月16日)

平成29年度事業会計予算について、収益的収入及び支出の歳入は、組合事業収益を2億4191万円。支出は、組合事業費用を2億8402万円と定めるものです。

デンソー女子ソフトボールチーム応援

2月に本町で合宿を実施していただいた、日本女子ソフトボールリーグ一部に所属する「デンソーブライトペガサス」の公式試合が、5月21日、福岡市「汐井公園野球場」において開催され、議会議員

で応援に行きました。当日は、福岡中種子会阿世知会長を初め会員の皆さんと一緒に熱い応援を行い、また、親睦を深めました。地道な活動が本町合宿推進に繋がればと考えています。



議会傍聴においでください。

平成29年9月議会は13日に招集される予定です。

町民の皆様、町議会の活動や町政の進め方などをよく知っていただくために、町議会では、できるだけ多くの方が傍聴されることを望んでいます。

町議会の本会議は、いつでも、だれでも傍聴できます。議会事務局で傍聴券を交付します。議長や係員の指示に従い、静かに傍聴しましょう。

開会日前には、防災無線でお知らせします。



車いすでの傍聴が可能となります。

議場内の段差解消工事を実施し、車いすでの傍聴が可能となっています。

議会の動き

6月		7月		8月	
4日	中部中種子会総会	2日	県民大会熊毛地区大会	1日	鹿児島県都市計画審議会
7日	議会運営委員会全員協議会	4日	正副議長研修会	2日	熊毛郡議会議長会臨時総会
14日	6月定例会（～22日まで）	9日	県民大会熊毛地区大会	3日	種子島屋久島議会議員大会
26日	九州各県町村議会議長会協議会	11日	消防・広域事務組合臨時会	5日	臨時会
28日	熊毛地域農政関係各種協議会総会	23日	全国町村議長会西日本ブロック会議	7日	県町村議会議長会理事会
26日	産業厚生常任委員会所管事務調査（～28日）	18日	全国町村議会議長会臨時総会	3日	市町村政研修会
21日	鹿児島県市町村総合事務組合第1回臨時会	23日	全国町村議会議長会都道府県会長会	5日	よいらーいき祭り
	鹿児島県市町村総合事務調査（～13日）		総務文教常任委員会所管事務調査	7日	議会運営委員会
	熊毛地域農政関係各種協議会総会		議会の映像中継について	第4回臨時会	議会運営委員会所管事務調査（～19日）
			中種子町議会では、議会の活性化を図るため、本会議中は、庁舎1階ロビーに設置しているモニターテレビで本会議の様相を放映しています。	議会広報研修会	

お知らせ

議場の入れない場合や役場へお越しの際は、是非ご覧ください。
(開会中に限ります)

編集後記

水稲の収穫も終わり夏本番、春先の低温で生育の遅れていた作物も日増しに青さが増し、視界も変わるほどの成長ぶりです。夏休みも半分を過ぎようとしていますが、子どもたちは楽しい夏休みを自分たちの課題に向かって頑張っているでしょう。この先、災害もなく、実り多き秋を迎えたいものです。残暑厳しい日々が続きます。体調管理にはくれぐれもお気を付けください。

身近な地方自治から国政まで関心を持ち、地方からの発信が重要です。読みやすく、分かりやすい議会だよりを目指し、広報編集委員一同、新たな体制で頑張ります。

- 戸田 和代
- 広報編集委員会
委員長 蓮子 信二
副委員長 永濱 一則
委員 戸田 和代
下田 敬三
迫田 秀三
山元みさ子

